

The People

Every single shining face
adds sparkle to the town.



The Tsuru Story

其の
三

人の章

一人ひとりの
笑顔が
まちに輝きを
与える

写真

▼坂下 伸雄さん
SAKASHITA Nobuo

茨城県土浦市から来ました。友人からいいところがあると鹿留川を教えてもらったのですが、本当に紅葉がきれいですね。自分で釣った魚をこうして食べる、最高にうまいです。また来たいな。都留の皆さん、もっと自慢していいですよ！

写真

▶上村 泰子さん親子
KAMIMURA Yasuko & her Family

高校で教員をしています。文化祭に展示した生け花を見に来ました。都留は狭いところにある田舎町なのですが、一度会ったら友達になれる、そんなまちです。文化的な刺激もあり、子どもたちが健やかに成長していけるまちだと思います。

写真

▲勝又 昭七さん
KATSUMATA Shoshichi

文化協会民謡部の理事をしております。文化に親しむ市民の皆さんは、今日の文化祭の日を目標にがんばってきました。私自身も民謡を歌って30年になります。歌は健康にも良いですから、これからもずっと続けていきたいですね。

写真

▶上野 房子さん
UENO Fusako

成人式で挨拶をするために来ました。実は50年前、第1回成人式(当時は成年式)に参加したんです。当時は皆さんのような晴れ着は着られなかったんですよ。新成人の皆さんには人をいたわる大人になってほしいですね。

写真

写真

写真

▶村上 真寿美さん
MURAKAMI Masumi

今日は九鬼山に登りに来ました。都留市二十一秀峰のパンフレットを見て、全部登ってみたいと思ひまして。コースが整備されていて歩きやすいですし、四季折々の魅力があって、富士もきれいで素晴らしい。今日は雪景色も楽しみです。

写真

写真

▶谷戸 由佳さん
YATO Yuka

平成15年度八朔祭大名行列で姫をさせていただきました。こんなにきれいな着物を着せていただけてうれしいです。大役を担うプレッシャーもありましたが、声援を送ってくださる皆さんのために、最後まで笑顔でがんばりました。

写真

写真

▶駒田 和也さん
KOMATA Kazuya

半年くらい前から9月1日の八朔祭に向けてお雛子の練習をしています。みんな祭り好きで盛り上がります。子どもたちと一緒に練習をするのですが、大人よりも飲み込みが早いくらいで(笑)。次の世代に継承していきたいですね。

Message from Fifty People
50 People's Memories Marking Tsuru City's 50th Anniversary
Their words are full of reminiscences on their hometown memories of Tsuru.

▶板倉 圭子さん
ITAKURA Keiko

ボランティアサークル「ひびきの会」の代表をしています。26年間1回も休まずに声の広報と議会だよりをつくってきました。本の読み聞かせもやっています。どれも人のためというより自分たちのため。いい勉強をさせてもらっています。

写真

写真

写真

▶小俣 浩風さん
OMATA Hirokaze

谷一少年野球クラブのキャプテンです。ピッチャーをしています。小学校3年生のころから始めました。ピンチのときに守備がいいプレーをしてくれたときは、すごくうれしいです。将来は巨人か阪神の選手になりたいです。

写真

▶ジェフマーティンさん
Jeff Martin

昨年に続いて八朔祭の写真を撮りにきました。私はアメリカのアイオワ州からきました。山梨県とアイオワ州は姉妹都市なんです。私は日本のいろんなことを知りたいと思っています。八朔祭は本当に興味深いお祭りですね。

写真

写真

写真

▶佐藤 皓さん
SATO Akira

ずっと鹿留で暮らしています。今は年金暮らしで、田畑の世話をしています。元気に働けることが一番、お天道様に奉公する気持ちで耕しています。鹿留の上は県有林で人が住んでいないから、水がきれい。静かだし本当に良いところですよ。

写真

写真

写真

▶相川 敏男さんご家族
AIKAWA Toshio & his Family

美味しいものが食べられるかなと思って和みフェスティバルに来てみました(笑)。ずっと都留で暮らしています。都留は都会と田舎が融合したまちで、そこそこに便利で自然も味わえる、子どもを育てるのにいいまちだと思います。

写真

▶沼田 匡史さん
NUMATA Tadafumi

栃木県大田原市から都留文科大学に入学しました。このまちの皆さんは、学生を身近に感じてくれていてよく声をかけてくれます。大学は良い意味でこじんまりしていて味わいがある…。この朗らかさを満喫したいですね。

**▶中村 裕子さん
禪くん親子**
NAKAMURA Yuko & Zen

平成16年4月29日、都留市の市制50周年の日に生まれました。都留で生まれたので、寒さに強い子なんです。やさしい人たちに囲まれて、のびのび元気に育ってくれればいいですね。子どもが安心して歩けるまちであってほしいです。

▶都倉 実里さん
TOKURA Misato

八朔祭の大名連でこれから踊るところです。練習は大変だけど、踊っているときはとても楽しいです。お化粧はお母さんがしてくれました。来年も友達と一緒に参加したいです。

市民が贈るメッセージ

50年目の都留市に届け!

50の想い

一人ひとりの言葉に こめられた ふるさと「都留」への想い

▼中村 秀雄さん親子
NAKAMURA Hideo & his Son

東京都杉並区から遊びに来ました。今日で2回目です。都留市は東京から近いのに、山も川もあって、日帰りで自然を楽しむのにとてもいいまちです。子どもたちも喜んでます。これから芭蕉 月待ちの湯に入って、疲れをとってから帰ります。

写真

▶大本 なつみさん
OMOTO Natsumi

旭小学校の4年生です。同級生は14人います。算数が一番好きです。休みの日には、図書館（情報未来館）に行ってコンピューターを使って遊びます。将来の夢はクッキー屋さんです。クッキーづくりはお母さんが教えてくれました。

写真

▶小俣 和江さん
OMATA Kazue

都留市連合婦人会の会長をしています。高齢者への支援が充実してきましたが子どもに対する支援はこれからですね。女性が結婚し、安心して子どもを生育てられるよう、気軽に遊べる公園や情報交換の場がもっとできればいいなと思います。

写真

▶中澤 健さん
NAKAZAWA Takeshi

東京都福生市から来ました。釣りが好きで都留にはよく来ます。通い始めて15年くらいかな。昔と比べるとにぎやかになりましたね。八王子ICから1時間でこれだけのロケーションはなかなかない。いつまでも美しい桂川であってほしいです。

写真

▶相川 峰子さん
AIKAWA Mineko

ママさんバレーをしています。都留市のリーグ戦や市制祭に参加して、13人のメンバーとともにバレーを楽しんでいます。私は都留に生まれて、都留で育ちました。雪は降るけど災害のない、いいところだと思います。

写真

写真

▶奥秋 温子さんご家族
OKUAKI Atsuko & her Family

登山がもともと好きで、広報で都留市二十一秀峰の企画を知り、いい機会だと家族を誘って挑戦しました。最初、子どもはブーブーいってましたね(笑)。でも登山を通して子どもたちに自然の大切さと厳しさを伝えることができました。

写真

写真

▶奥秋 健吾さん
OKUAKI Kengo

宝小学校の1年生です。生活科の授業が好きです。休み時間はサッカーをします。今は雪遊びが楽しいです。サッカーはうまくいかわからないところが楽しいです。将来はサッカー選手かテニスの選手になりたいです。

写真

写真

▶雨宮 綾夏さん
AMEMIYA Ayaka

東桂小学校の6年生です。飼育係をしています。今、ニワトリとインコ、ウサギの世話をしています。とてもかわいいです。鳥とふれあいたくて飼育係になりました。飼育当番がいつも楽しみです。将来は保育士になりたいです。

写真

▶渡辺 勝さん
WATANABE Masaru

登山が好きで、広報で市制50周年記念都留市二十一秀峰フォトラリーの企画を知り、平成16年の5月から2カ月かけて踏破しました。特に鶴ヶ鳥屋山が良かったです。頂上からの景色もそうですが、人との出会いもまた登山の魅力です。

▶武井 重雄さん
TAKEI Shigeo

生涯学習推進会議の会長をしています。変化の激しい時代ですから、学校だけでなく生涯にわたって学ぶことが大切です。そしてそれをまちづくりに生かしていきたいですね。学んで実践、実践しながら学ぶ、これが大切だと思います。

▶八代 直之さん
YATSUSHIRO Chokushi

宝地域協働のまちづくり推進設立準備会の会長をしています。宝地区は富士おろしをささげる三ツ峠があって、市内でもあたたかく、人もおだやかでまとまりがあります。地域の皆さんと一緒に宝の里づくりに取り組んでいきたいですね。

写真

写真

▶小俣 信子さん
OMATA Nobuko

女性政策塾に参加しています。これからは防災について地域で考え行動することが大切だと感じています。私が住む小野は、地域のまとまりがあります。道祖神、山の神様、どんど焼きなどの伝統行事をしっかり受け継いでいます。

写真

写真

▶棚本 安男さん
TANAMOTO Yasuo

谷村地域協働のまちづくり推進会の会長をしています。谷村の城下町文化を再発見し健康増進を図る「ふるさと発見ウォーキング」や、八朔祭での花いっぱい運動など、住民自らが市と一緒に自分たちの地域づくりに取り組んでいます。

▶志村 菜穂子さん
SHIMURA Nahoko

小学校の地域交流として平成16年10月にミサンガづくりをしました。親子あわせて100人も参加があり、一人で教えるのは大変でしたが皆さん熱心でうれしかったです。地域交流が盛んな都留では、子どもたちがのびのびと育っています。

▶館野 美里さん
TATENO Misato

第48回都留文科大学学園祭の実行委員長です。学園祭では市民との交流を考えてファンファクトリーという企画を立てました。学園祭を通じて大学のことを多くの人に知ってほしいです。大変でしたがやってきて良かったと実感しています。

写真

▶曾根 淳希さん
SONE Toshiki

都留文科大学附属小学校の6年生です。野球をしたり本を読んだり、インターネットでいろいろ知るのが楽しいです。将来は医者になりたいです。なぜかというと、テレビで病気やケガで困っている人を見て、助けあげたいと思ったからです。

写真

写真

▶しらい みちよさん
SHIRAI Michiyo

シンガーソングライターとして活動しています。阪神淡路大震災の追悼のため、全国に桜を植える活動もしています。市内にも植え、6,500本の目標まであと少しです。都留は童謡「ふるさと」が似合うまちですね。どこにいても必ず帰ってきたいと思う場所です。

▶山口 夏季さん
YAMAGUCHI Natsuki

東桂中学校の2年生です。最近、ゴルフにはまっています。父さんがやっているところを見て自分もやりたくなり、教えてもらっています。庭に練習場もつくってくれました。もうすぐ3年になります。高校受験に向けてがんばります。

◆志村 莉央さん
SHIMURA Rio

谷村第二小学校の5年生です。来年、児童会長になります。選挙のときは緊張したけれど、児童会を楽しくまとめていきたいです。サッカーとか自転車とか卓球をして遊びます。スポーツが好きです。将来は飛行機の整備士になりたいです。

写真

◆朝田 彦雄さん
ASADA Hikoo

盛里地域協働のまちづくり推進会設立準備会の会長、また都留文科大学などで講師をしています。地域が持っていた文化やエネルギーを地域力としてよみがえらせ、安心して暮らせる地域をつくってほしいと、みんなの声を集めています。

写真

写真

◆杉本 清香さん
SUGIMOTO Kiyoka

お味噌とこんにゃくをつくって、JAの直売所に出しています。杉本さんところのお味噌じゃないと…っていわれるとうれしいですね。麴から自分たちでつくっているんです。健康のためにやっているようなものですよ、生きがいです。

◆安富 尚美さん
YASUTOMI Naomi

今日、成人の日を迎えました。桂高校を卒業後、東京で医療関係の学校に通っています。都留にはしょっちゅう帰っています。緑が多くて水もおいしい、心が落ち着きます。成人として自覚のある行動をしていきたいですね。

写真

◆堀内 優人さん
HORIUCHI Yuto

禾生第二小学校の3年生です。今日は校庭に雪が積もっているの、今からソリで遊びます。学校の授業では体育が好きで、中でもドッジボールとどび箱が大好きです。休みの日は、1年生のときから続けている少年野球をやっています。

写真

◆澤田 洋一さん
SAWADA Yoichi

東桂地域協働のまちづくり推進会の会長をしています。住民が共に地域をつくってほしいと、おなん淵の清掃や高齢者のデイサービス、学童保育などをボランティアで行っています。東桂にはまだまだエネルギーがあると実感しています。

写真

◆小俣 亘さん親子
OMATA Wataru & his Son

10年前、東京から都留に引っ越してきました。今日は、和みフェスティバルの木工体験とリニア試乗抽選会を目当てに、家族で参加しました。40歳まではJC(青年会議所)でボランティア活動にも参加していました。

写真

◆荻窪 綾華さん
OGIKUBO Ayaka

都留第一中学校の1年生です。小学校3年生のときからバスケットをやっています。楽しくて夢中です。ドリブルで抜いてシュートしたり、スリーポイントシュートが決まると本当に気持ちいい!アメリカNBAのバスケットを見に行きたいです。

写真

写真

◆梅屋 未有さん
UMEYA Miyu

少年野球から野球を始めて、今は都留リトルシニアでがんばっています。ポジションは、ファーストです。みんなのできるスポーツだから野球が好きです。高校生になったらソフトボールをしたいです。ずっと続けることが目標です。

◆萱沼 せらさん
KAYANUMA Sera

都留第二中学校の3年生で、もうすぐ卒業です。いい先生やいい友達…、この3年間の出会いが今につながって道が広がりました。高校に行ってもバスケットを続け、勉強と両立させながらもっと成長して、新しいことに挑戦していきたいです。

写真

写真

◆都倉 史朗さん
TOKURA Shiro

禾生地域協働のまちづくり推進会の会長をしています。地域住民が主体となった取り組みを行っています。平成16年度は、防災学習会を地区内14会場で行いました。600名の参加があり、住民の防災意識がかなり高まりましたね。

◆岡山 良子さん
OKAYAMA Yoshiko

市制50周年ですか…50年前に「ツル」ってかいた旗を振りながら、市の歌を歌って行進したのを覚えています。懐かしいですね。私は民生委員をしています。仕事を通して、昔のような地域のつながりをもっと大切にしていきたいと感じています。

写真

写真

◆後藤 敬さん
GOTO Takashi

男女共同参画推進委員会の委員長をしています。男女が共に認め合い、対等に生きていける社会を目指して、来年度に「男女共同参画プラン」(仮称)をつくる予定です。そのために15名の推進委員の皆さんと、学習を重ねています。

◆青池 南保さん
AOIKE Maho

禾生第一小学校の2年生です。読書が好きです。お気に入りの「ジャンヌ・ダルク」です。クラスではお助け係をしています。お休みの日に手紙を書いたり、お楽しみ会で司会をしたりします。優しい大人の人になりたいです。

写真

写真

◆園田 巖さん
SONODA Iwao

上大幡保存会で神楽の伝承に取り組んでいます。神楽に音符はなく、音色や調子を体で覚えるしかありません。とても奥が深い。会には熱心な後継者がいて、私もやりがいを感じながら指導にあたっています。古き良きものを伝えていきたいですね。

写真

◆三浦 ちかえさん
MIURA Chikae

月に一度、こうして隣り近所の皆さんと「芭蕉 月待ちの湯」に来ています。ここはいいお風呂ですね。それから送り迎えのバスがあってとても便利です。いつまでも元気で、皆さんと仲良くお風呂に通いたいと思っています。

写真

写真

◆平尾 雅一さん
HIRAO Masakazu

富士急行の運転士をしています。富士急行の自慢はお客さんに素晴らしい富士山を見ていただけることです。秋は桂川辺りの紅葉、春は谷村町駅から大月よりの路線に咲く桜がきれいですよ。ぜひ多くの人に乗りてほしいです。

インタビュー後記

さまざまな人の声を伝えたくて、50人の方にインタビューを行いました。都留市に暮らす人や働く人、たまたま遊びに来た人や、都留の自然をこよなく愛する人など…、それぞれがそれぞれの視点で、市の魅力や自分たちの思いを語ってくれました。皆さんの思いが、50周年を迎え、新たな一歩を踏み出す都留市の力になります。ご協力、ありがとうございました。

都留の子どもたちが描く未来

Children Painting a Vision for the Future of Tsuru

五十年後の都留市は、
いったいどんなまちになっているんだろう？
都留の子どもたちが、あれこれ想像しながら
夢いっぱいの未来を描いてくれました。

「東桂小学校」
Higashikatsura
Primary School



自分たちの卒業式に飾ろうと、6年生全員で作った未来図の中の1つです。大きな富士山の麓にリニアが走り、スタジアムや空港、大きな病院や会社などがある、にぎやかな都留が描かれています。

2003年度卒業生
「50年後の都留市」

Yamura-daiichi
Primary School

「谷村第一小学校」

卒業生74人で制作した巨大な作品です。駅前にはリニアが走り、太陽電池の時計と動く歩道があります。高層ビルもありますが緑豊かな公園もある、そんな未来のまちが描かれています。



「宝小学校」
Takara
Primary School

平成14年度の卒業生26人が制作しました。セロハンを使ったステンドグラスふうの大きな作品で、リニアがまちを走り、ビルや家がいっぱい建ったにぎやかな未来が描かれています。



平成14年度卒業生共同制作

Asabi
Primary School

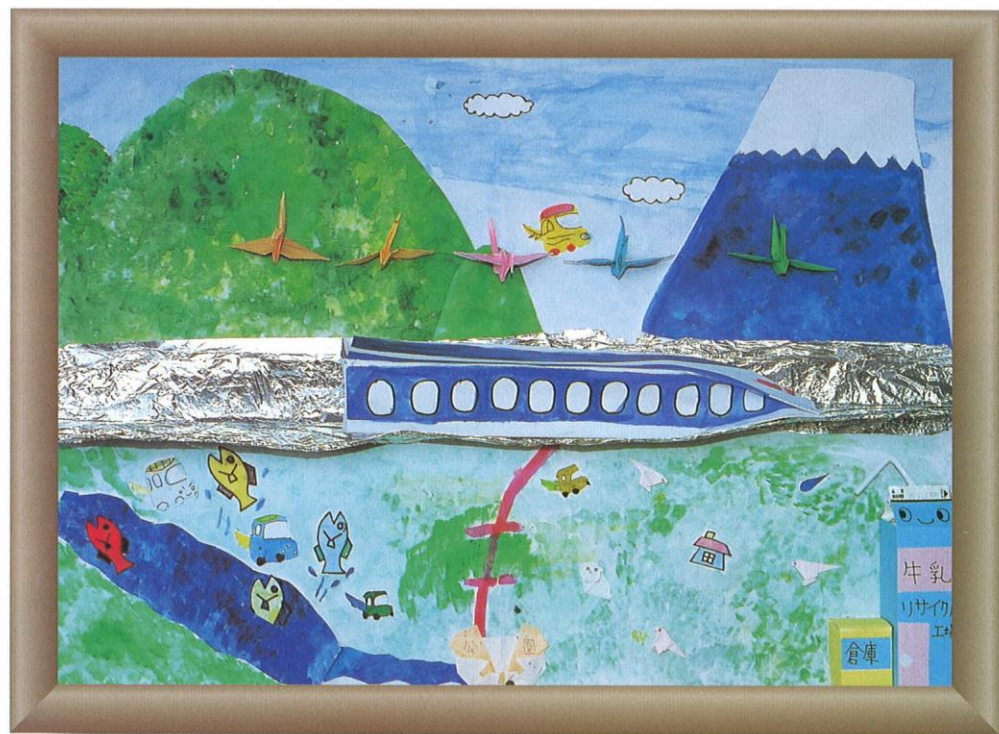
「旭小学校」

全校生徒が50年後の都留市を想像してイラストを描き、それらを6年生12人がコラージュして作りました。空飛ぶ軽トラや高層ビルのホテルや会社など、にぎやかなまちが出来上がりました。



〔禾生第一小学校〕 — Kasei-daiichi Primary School —

班ごとに未来の都留市を描いた作品の中から、子どもたち自身が選びました。環境を考え、あるもので作ろうと、牛乳パックやティッシュの空き箱などを用い、アイデアいっぱいの立体的な作品となっています。



〔都留文科大学附属小学校〕

— Tsuru University Primary School —

卒業生33人の作品です。50周年を迎えた都留市と、中学生になる自分たちのはばたきを、33個の風船に託して飛ばしました。山と川に囲まれた自然豊かな学校と未来の家が描かれています。

〔谷村第二小学校〕 — Yamura-daini Primary School —

未来の都留市を想像し、卒業生38名全員で作りました。リニアが走って活気のあるまち、スポーツが盛んな元気なまち、人にやさしいまちなど、テーマごとに分かれて制作しました。



〔禾生第二小学校〕

— Kasei-daini Primary School —

それぞれが未来の都留市を絵や文章で表現し、それを卒業生33名全員で1つの絵にまとめました。八朔祭などの伝統文化を守りながら、自然豊かで科学の発達した都留市が描かれています。

都留の子どもたちが描く未来
— 人の章 —